

## 第4

# 分野別施策の基本的方向

# 啓発広報

## 現状と課題

これまで、本県では、障害や障害者に対する正しい理解の促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念の普及に努めてきました。

しかし、障害や障害者に対する誤った認識や偏見、特別視から生じる心のバリアなど、様々なバリアは依然として存在しています。

障害の有無にかかわらず、県民一人ひとりがお互いの個性を尊重し支え合う共生社会を実現するためには、行政はもとより企業、\*NPOなどが連携し合い、県民全体の意識の高揚を図っていく必要があります。

このため、それぞれの障害の特性に応じた正しい理解と認識を一層定着させるための積極的な啓発広報活動を展開するとともに、だれもが暮らしやすい社会の実現のため、ユニバーサルデザインの考え方を県全体に浸透させ、その取組を県全域で推進していく必要があります。

教育の面では、引き続き、生涯にわたっての福祉教育を推進するとともに、教育課程における交流教育や地域と福祉関係施設などとの交流活動などの取組を促進する必要があります。

さらに、障害者及び障害者団体などが、自主的に自立や社会参加に結びつく啓発などを行う場合、その活動に対する支援が必要です。

## 様々なバリア

障害者は、暮らしの中で、様々なバリア（障壁）を感じています。たとえば...

### 心のバリア

障害や障害者に対する誤った認識、偏見など、私たちの意識の中にある障壁

### 物理的なバリア

障害者の行動を阻害する、建物や駅のエレベーターの不備、歩道と道路の段差、路上の放置自転車など

### 制度的なバリア

「身体が不自由である」、「知的障害がある」、「精神障害がある」などの障害や病気を理由に、免許・資格取得、大学入試、就職試験等の機会が与えられないなど

### 情報のバリア

視覚障害者や聴覚障害者などが音声案内、点字、手話通訳、文字放送などの欠如や不足のため、情報の収集・伝達を阻害されていること

## 今後の取組

### 1 啓発広報の推進

#### ユニバーサルデザインの推進

市町村，民間団体などと連携し，ユニバーサルデザインの具体的な取組を推進するため，ユニバーサルデザイン普及啓発冊子などを活用した普及啓発活動，インターネットを活用した情報提供などに取り組みます。

#### ユニバーサルデザインとは

年齢や性別，身体的能力，国籍や文化など人々の様々な特性や違いを超えて，すべての人が利用しやすい，すべての人に配慮したまちづくりやものづくり，しくみづくりを行うという考え方。

(ユニバーサルデザインひろしま推進指針(H14.3)から)

#### 様々なバリアに対する啓発広報の推進

障害や障害者に対する誤った認識や偏見，特別視から生じるバリアの除去を図るため，テレビ，ラジオ，ホームページ，広報紙などの各種メディアを活用した計画的かつ効果的な広報活動を実施します。

「\*障害者福祉強調月間(9月)」，「\*障害者週間(12月3日～9日)」などに各種行事を実施することにより，広く県民への啓発に努めます。

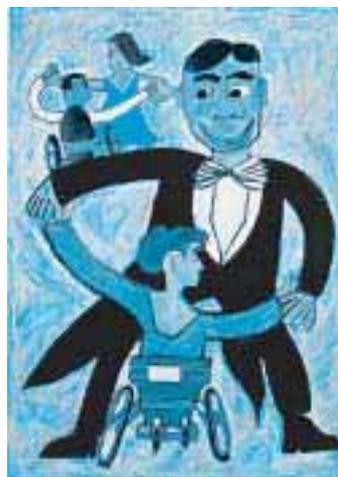
障害の特性に応じた正しい理解を促進するため，障害者スポーツ大会などの各種イベント情報を提供します。

#### 心の輪を広げる体験作文等の募集事業

障害の有無にかかわらず国民誰もが人格と個性を尊重し相互に支え合う共生社会の実現を目指すことを目的に，作文については平成元年度から，ポスターについては平成5年度から，内閣府と都道府県・指定都市の共催で募集しているものです。

作文は，小学生，中学生，高校生・一般市民の3部門，ポスターは小学生及び中学生の2部門から各1名が最優秀賞作品に決定され，毎年12月9日に開催される「障害者の日・記念の集い」において内閣総理大臣賞の表彰を行うこととしています。

平成15年度最優秀賞【小学生部門】ポスター  
竹内翔祐(佐世保市立白南風小学校4年)さんの作品



雇用における啓発広報の推進

啓発資料の事業主などへの配布やホームページなどを通じて障害者雇用に関する幅広い啓発広報活動を推進します。

## 2 福祉教育等の推進

幼少期からの障害者との交流の機会づくりが重要であり，家庭，地域，学校などにおいて，継続的な\*福祉教育の推進に努めます。

学校相互が連携を取り合い，計画的，継続的な\*交流教育を推進します。

障害者とのふれあい・交流をテーマとした「心の輪を広げる体験作文」，「障害者の日のポスター」の募集や紙屋町地下街福祉公共スペース（ふれ愛プラザ）の運営支援などを通じて，障害や障害者に対する理解を促進します。

行政職員，教職員，警察職員，医療・福祉関係者などの各種公共サービス従事者に，障害や障害者に対する理解の促進とその徹底を図ります。

### ふれ愛プラザ

紙屋町地下街シャレオで，授産製品の展示即売，福祉情報の発信などを行っています。

営業時間 11:00～21:00

県内の授産施設，作業所で作った製品の展示販売

同時に，施設利用者の販売実習も行っている。

ボランティア，福祉施設の活動など福祉情報の提供

ホームページアドレス

: <http://fureai-plaza.com/>

車椅子の無料貸出のほか，障害者・高齢者のための交流スペースの設置



## 3 障害者及び障害者団体等の自主的活動の促進

障害者及び障害者団体などが自主的に行う啓発活動などについて，障害者施策に関する情報提供を行うなどの支援に努めます。